

令和8年2月26日

令和7年度 第3回 大阪市立市岡中学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立市岡中学校
校長名 西川 孝治

日時	令和8年2月26日（水）18時00分～ 19時30分	
場所	大阪市立市岡中学校多目的室	
出席者	委員など	高橋和也、畑下菊、糸井利則、岡本雅秀、神野操、山本久美子、玉城武俊、廣田晴行、阪上由香
	校園	校長 西川孝治、教頭 小池里佳、教務主任 祖父江知世
	区役所	担当者 1名
議題	(1)運営に関する計画最終評価について (2)学校評価アンケート（保護者・生徒）結果について (3)学校元気アップ地域本部事業活動状況について (4)その他	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 運営に関する計画最終評価について承認された。	○評価基準が厳しいのではないかとの意見があった。日本人の特性として、できていても最も肯定的な評価をつけないのではないか。また、最も肯定的な評価をつけるような、自己肯定感を育む教育を全教職員で、進めていく必要があるとの意見があった。
	(2) 学校評価アンケート（保護者・生徒）結果について承認された。	○対話的な活動について、具体的にどのような方法で授業を進めているか質問があり、人数（4人がベストである）や教員の関わり方（放置し見守るのではなく、ファシリテーターとして動く）を回答し、それが数値の向上につながっていると納得していただけた。 ○ユニバーサルデザインが保護者にとってわかりづらいとのご指摘があった。すべての生徒にとって等しく学べる環境であることをさしているが、あまり伝わっていないことがわかった。もっと周知していく必要があるとの意見があった。
	(3) 学校元気アップ地域本部事業活動状況について承認された。	○不登校の予防について、「はとばカルッチャ」にラグやクッションを導入したおかげでリラックスした環境になった。生徒が肩の力を抜いた姿勢で過ごせることで、いままで出なかった一言やつぶやきがきけるようになった。学びの選択肢の保障になってきている。
	(4) その他	
協議資料	○R6年度「運営に関する計画」最終評価 ○学校関係者評価報告書 ○学校評価アンケート結果 ○学校元気アップ地域本部事業活動報告	
備考	傍聴者[0]名	